

メロン世界新興国ソブリン・ファンド(愛称:育ち盛り)
～ハンガリーの利下げについて～

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

2月22日、ハンガリー中央銀行は政策金利である2週間物預金金利を0.25%引き下げ、従来の6.00%から5.75%としました。今回は、2009年7月以降8ヶ月連続の政策金利引き下げとなりますが、市場で既に織り込まれており、大きな市場へのインパクトはありませんでした。

【ハンガリー経済の現状について】

ハンガリー中央銀行は声明の中で、追加利下げの可能性について指摘する一方で、欧州諸国の債務問題を考慮すると、追加利下げの余地は狭まっているとの考えを示しました。また欧州諸国の債務問題がハンガリーにも影響を及ぼす可能性があることについても言及しました。

ハンガリー中央銀行は依然として低迷が続くハンガリー経済の底上げを目的として、今回の措置に至ったものと思われます。同国の2009年9-12月期の実質GDP成長率(前年同期比)は-4.0%と7-9月期の-7.1%(同)からは改善が見られたものの、依然としてマイナス成長に陥っております。

【今後の運用方針について】

金融緩和政策は最終局面にありますが、ハンガリー経済の低迷が継続する場合は、再度の利下げがあり得ると思われます。もう一段の利下げは、債券にとってはプラス、通貨にとってはマイナスの材料になると考えています。

したがって、為替(ハンガリー・フォリント)についてはベンチマーク比低めの組入れを継続し、ハンガリー債券については、ベンチマーク比高めの組入れとします。

スタンディッシュ社では、引き続き各国の経済情勢や市場動向を注視しながら運用を行って参ります。

(ご参考)

2010年1月末時点におけるマザーファンドの組入れ比率

ハンガリー債券:11.0% ハンガリー・フォリント:9.0%

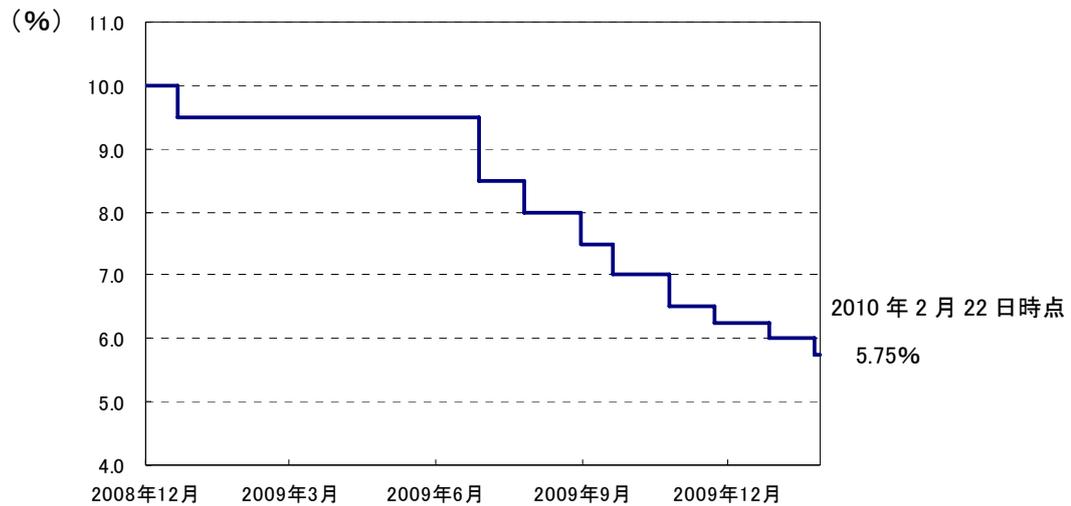
(2010年1月末時点におけるベンチマーク※のハンガリー組入比率:債券・通貨とも各10.0%)

※ベンチマークはJPモルガン GBI-EM Diversified 指数(ヘッジなし、円ベース)です。

以上

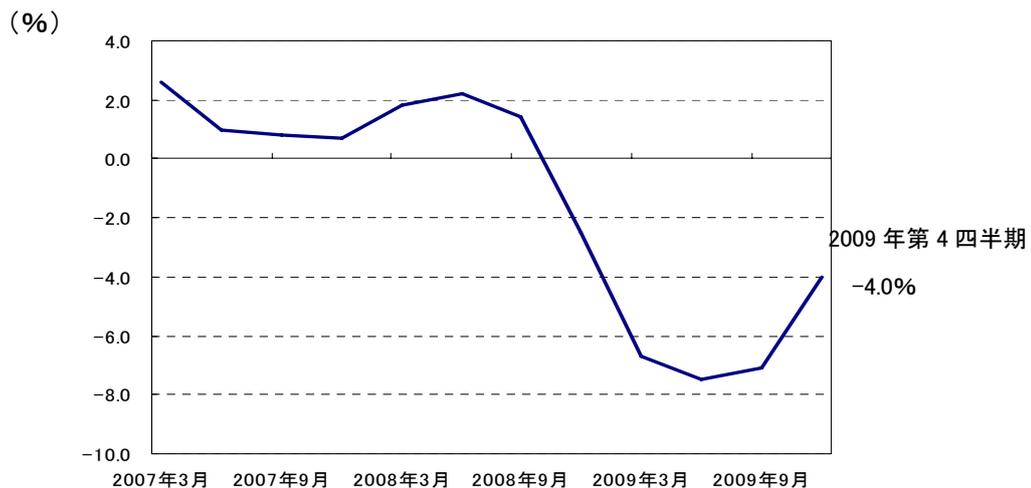
【ご参考】

ハンガリー:政策金利の推移
(2008年12月31日~2010年2月22日)



(出所)ブルムバーグ

ハンガリー:実質 GDP 成長率(前年同期比)の推移
(2007年第1四半期~2009年第4四半期)



(出所)ブルムバーグ

＜ファンドのリスク＞

- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として新興国の債券への投資を行いますので、組入れた有価証券等の値動き(外貨建資産には為替変動もあります。)により当ファンドの基準価額は大きく変動することがあります。
したがって、当ファンドは、元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により解約・償還金額が投資元本を下回り、損失を被る可能性があります。運用により信託財産に生じた利益または損失は、すべて受益者に帰属します。当ファンドは、預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。
- 当ファンドの基準価額変動要因としては、主に「価額変動リスク」、「新興国への投資に伴うリスク」や「為替変動リスク」などがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

＜お客様にご負担いただく費用＞

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

■ 直接ご負担いただく費用

○お申込手数料:

3.675%(税抜 3.5%)を上限として、販売会社が定める申込手数料率を買付申込日の翌営業日の基準価額に乗じて得た額となります。

○ご換金手数料:ありません。

○信託財産留保額:ありません。

■ 間接的にご負担いただく費用

○信託報酬

当ファンドの純資産総額に年 1.7325%(税抜 1.65%)の率を乗じて得た額とします。

○その他の費用

上記のほか、監査費用および信託事務諸費用、当ファンドの組入れ有価証券等の売買に係る売買委託手数料等が、信託財産より支払われますが、これらの費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記費用の総額につきましては、投資家の皆様の保有される期間等により異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「手数料等及び税金」をご覧ください。

BNY メロン・アセット・マネジメント・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第 406 号

[加入協会] 社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会